

2011年度開講予定のデザイン演習4Aの課題

感性技術を用いた

2020年の心地よい生活を支援するプロダクト

2010年～2040年をターゲットとした感性技術ロードマップを作成し、2020年に実現する心地よい生活を支援するプロダクトを提案する。

www.meti.go.jp/policy/economy/gijutsu_kakushin/kenkyu_kaihatu/19fy-pj/oudan.pdf

<http://www.ai-gakkai.or.jp/jsai/activity/rloadmap.html>

http://www.jsap.or.jp/jsap75/academic_roadmap.html

ダイソン学生コンペに応募することも目標とする <http://www.jamesdysonaward.org/>

日程：

4月15日： 課題発表，アカデミックロードマップと技術動向について自主調査

4月22日： 技術や生活環境に関する予測について，全員で検討しマップ化する（構造モデルを応用する）

4月29日： 自習（全員で作ったロードマップを元に自分の考えるロードマップを作る）

5月6日： ロードマップに基づいた感性技術とプロダクトの関係について発表

宿題：プロダクトのアイデアスケッチを行う

5月13日：アイデアスケッチ発表

アイデアに影響する要素を7つ見つけてくる。それぞれに対してバリエーション（水準）を3つ考える。

例：形状 [円柱，楕球，角柱]，畳み方 [フラット，ロール，ボール]，，，，

実験計画法を用いて要素と水準の組み合わせを作り，18種類のアイデアスケッチにまとめる。

5月20日：中間発表

18種類のアイデアを順位評価し，コンジョイント分析によって，要素の重要度を理解する

5月27日：重要度をを反映したコンセプトの設定と発表

6月3日：最終案発表

6月10日：試作準備

6月17日：モデル・プレゼンテーション資料制作

7月1日：発表

?日：デ基礎と合同発表会

発表は，A2パネル1～3枚と提案の内容が伝わるモデルとする。必要に応じてムービーなども準備すること。